

安心・安全なクリクラの水

クリクラの水は 有機フッ素化合物 (PFAS) の検出ゼロ

浄水型サーバー (feel free) もPFAS未検出を確認済み

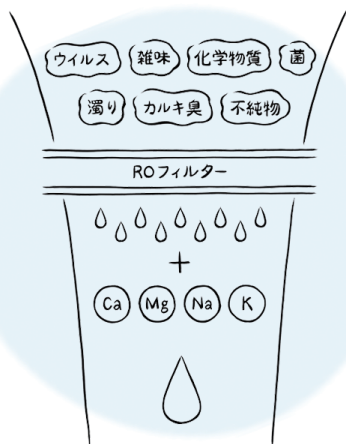
千葉県の一部地域から、有害性が指摘されている[PFAS=有機フッ素化合物の一種]が、国の暫定指針値を大きく上回って検出されたとニュースなどで報じられました。ご不安な方も多いかと存じますが、クリクラの水はPFASの含まれない安全な水です。引き続き安心してご使用ください。

お届けしている「クリクラ」の水にPFASは含まれていません

クリクラの水は、最先端テクノロジーの逆浸透膜 (RO膜) システムを使用し、原水に含まれる菌やウイルス、化学物質、不純物をしっかり取り除いています。さらに56項目の厳しい水質安全基準を満たした水だけをお客様にお届けしています。



PFASの詳細な
情報はこちら



クリクラの水は、有機フッ素化合物 (PFAS) 検査を実施していますが、これまでPFAS (PFOS/PFOA) が検出されたことはありません。安心・安全な飲み水として、ご使用いただけます。

試験項目	結果		分
ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	1	ng/L 未満	固相抽出-LC/MS/MS法
ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	1	ng/L 未満	固相抽出-LC/MS/MS法
ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	1	ng/L 未満	固相抽出-LC/MS/MS法

未検出 (検査機関: クリタ分析センター株式会社)

水道水を注ぐ浄水型のfeel freeも、PFASは未検出

浄水型ウォーターサーバーfeel free、feel free putioにおいても、有機フッ素化合物 (PFAS) 検査を実施済みです。ろ過能力試験結果において、PFAS (PFOS/PFOA) は未検出 (検出限界値1ng/L未満) ※となっています。

(検査機関: 株式会社 総合水研究所、株式会社 兵庫分析センター)

※ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) の量の和として、水道水の水質管理値0.00005mg/L以下 (暫定) に適合している。

裏面にてPFASの解説をご確認ください >>

有機フッ素化合物 (PFAS) とは？

PFAS (ピーファス) とは、人工的に作られた有機フッ素化合物の総称です。水や油をはじき、熱に強いという特性から様々な製品に使われており、その種類は4700以上あると言われています。

焦げつきにくいフライパンや、食品の包み紙などの身近な日用品から、防災服や自動車の部品にまで幅広く使用されており、PFASの中でも、PFOS (ペルフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA (ペルフルオロオクタン酸) は、幅広い用途で使用されてきました。

しかしながら、私たちの生活の中で役立ってきた一方で、自然分解しにくく、高い蓄積性を有することが確認され、人体や環境に対しての有害性が明らかとなり、現在では国内での使用・製造や輸入が原則禁止されています。



PFOS及びPFOAの水への影響は？

PFASは水に溶けやすいという性質があります。PFASを含んだ工場排水や廃棄物の処理によって河川や地下水に流れ出て、一部の地域の地下水や水道水からPFOSとPFOAが検出されています。

水道水などから体内に入った場合に排出されにくく、長期的に摂取した人の健康被害が懸念されているため、日本では、2020年4月に「水道管理目標設定項目」が設けられ、PFOS・PFOAの暫定目標値が設定されました。

ここで定められた暫定目標値は、「PFOS及びPFOAの量の和として50ng/L以下」で、これは体重50kgの人間が1日2Lのお水を生涯にわたって摂取したとしても健康に害がないとされる値です。

2024年6月時点では、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのかについてはいまだ確定的な知見はないため、国際的に様々な知見に基づく検討が進められています。

今後PFASを除去する動きはさらに広がりを見せると考えられます。

**PFASを体内に入れないために、
クリクラのウォーターサーバーをご使用いただくことは有効な対策となります。
これからも、安全なお水をお届けしてまいりますので
引き続き安心してお使いいただけますようお願い申し上げます。**

CreCla
クリクラ

加盟店

CC ナンバー：

担当：